

図書館へ行こう！

一年のうちでもっとも寒い季節を迎えています。屋内で過ごすことが多くなるこの時期は、まさに読書向きのシーズン。毎日たとえ10分間でも、読書の時間を大切にしてほしいと思います。めくったページの数だけ、きっと心の糧になる。読書は心の栄養です。

先生方おすすめの本

英語科 山元 育子先生のおすすめ

吉田修一著

『怒り』上・下



殺人現場に現れた「怒」の血文字。含んで行方不明の犯人。そして、事件から1年……。原形、真実、真相のすべてに、身元不明の男が現れる。孤独の隙間に生まれた3つの愛の運命は？
私が愛したのは、誰だ？



各界各紙誌、絶讃
『週刊文庫ミステリーベスト10』
『本屋大賞』
ランクインの話題作！
私を裏切ったのは、誰だ？

この本はつい最近読んだミステリー小説です。あっという間に読むことができますが、終盤で判明する犯人の言葉が心に突き刺さり、読み終わった後暫く身動きできませんでした。東京で起こった殺人事件から舞台は東京、千葉、沖縄へと広がっていきます。この三つの場所に住む人間たちの家族や友人との繋がりが、事件をきっかけに徐々に変化していきます。平凡な日常が人を疑い始めることで崩れていきます。自分のことを「伝え」、相手を本当に「理解」することの難しさや、「信じあう」ことの難しさが人間関係の危うさを浮き彫りにしていきます。どんなに信じていても裏切られることの空しさに打ちのめされながらも、立ち上がって生きていこうとする人間の強さに希望を持ちたいと感じた作品でした。

国語科 阪口和也先生のおすすめ

外山滋比古著『思考の整理学』

すでに読んだことのある人も多いと思いますが……

著者の外山さんは教科書などでもなじみのある人です。この本は発行年も古いため、中身は時代に合わない部分もあるかもしれませんが、ものを考える上では入門書だと思います。

現代においてはいろんな情報が皆さんのすぐ近くにあるため、情報の選択など、また、AIによる社会の変化などで「考える」という知的活動は不可欠なものになっています。

みなさんがこの本をきっかけにして、より深く「考える」ということ、またいろんな読書体験をしてくれたらと思います。



学院図書館にも入りました！！『広辞苑第7版』^{しんむらいずる}新村出編 / 岩波書店

『広辞苑』は1955年に初版を刊行、それから60年余が経ちました。(中略) 日本語の語彙と表現は、古代から現代に至るまで、日本語を使う無数の人々によって大きく豊かに育てられてきました。この日本語という沃野を耕してきたのは人々の自由な心です。

言葉は、自由な発想から芽吹き、人々の手で自由に選ばれ、愛され、そして縦横に駆使されることによって、広がり、深められ、定着していきます。(中略) 『広辞苑』の辞典としての特長は、その語釈が簡潔かつ的確であることに尽きます。これこそが、長くなりがちで要点をつかみにくいインターネット上の表現との決定的な違いです。(中略) 激変する世界にあって意味を見失った言葉の氾濫する

今日、ますます求められるたしかな言葉。人は言葉によって自分自身を知り、他者を知り、生きる勇気と誇りを手にすることが出来る。言葉は、人を自由にするのです。

(岩波書店HPより抜粋)



【貼り付け】朝日新聞「天声人語」2017.10.27

図書館から～雑誌のご紹介

月刊 Newton



科学に関するさまざまな情報をビジュアルに解説した雑誌『Newton』。創刊当時から「科学は決してむずかしいものではなく、そこには感動的なドラマがある」という方針を貫き、天文学や惑星科学、古生物、古代文明、地球科学、宇宙開発、素粒子物理学など多岐にわたった特集を組んでいます。

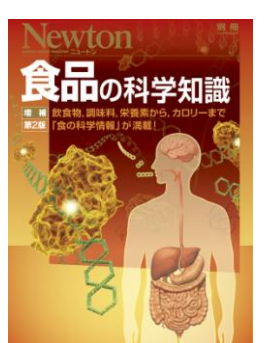
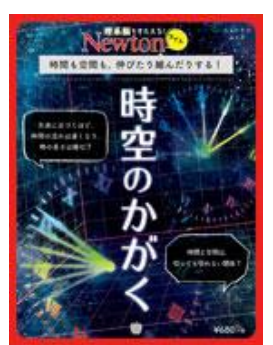
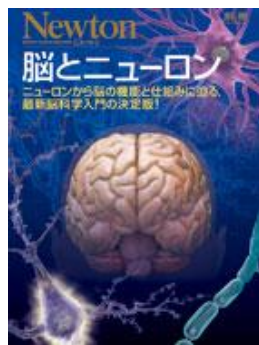
とくに最近では、高度情報化社会や生命工学、ロボット工学、環境問題、エネルギー問題など、新聞・テレビなどでたびたび話題となる記事がワールド・ワイドに取り上げられています。3月号の特集は「真空崩壊」です。

3月号の特集 宇宙の物理法則が乱れ 原子さえも崩壊する!?

- ◇「半死半生」のネコは実在するか? シュレーディンガーのネコと量子論の解釈問題
- ◇アレルギーの正体—花粉症は免疫系の“暴走”が生む ◇食物アレルギー治療の今 “避ける”から “食べて慣らす”へ ◇太陽系の外にある「第二の地球」の水を探る! 他
- ◇日本が開発した最新鋭の X 線天文衛星がブラックホールや銀河団のなぞにぞくぞくと 他

別冊 NEWTON mook

驚異と興奮に満ちた最新の科学の世界をテーマ別に集大成——NEWTONが贈る珠玉のムックシリーズ。精密なイラスト、衛星やシャトル等の画像、美しい写真を交え分かりやすくダイナミックに紹介します。



学院図書館には現在、ここに紹介した以外にも別冊Newtonムックが約 250 タイトルあります。貸出できますのでたくさん利用してくださいね。

図書館特別展示 詩人の世界 ゆあーん ゆよーん ゆやゆよん



中原中也 『山羊の歌』より 「サーカス」

3 学期の図書館では、中原中也のほか、国語の教科書に登場する詩人たちを集めて展示します。直筆原稿や関係資料を展示します。詩人たちがかもし出す詩の世界に触れ、味わってみてください。

幾時代かがありまして 茶色い戦争がありました
幾時代かがありまして 冬は疾風吹きました
幾時代かがありまして 今夜此処でのひと盛り 今夜此処でのひと盛り
サーカス小屋は高い梁 そこに一つのブランコだ 見えないともないブランコだ
頭倒さかさに手を垂れて 汚れた木綿の屋根のもと ゆあーん ゆよーん ゆやゆよん